

(別記第3号様式)

根室市市民意見公募手続（パブリックコメント）実施結果公表

令和5年3月10日

市民の皆さんからいただいたご意見、これに対する市の考え方などを取りまとめましたので公表します。

施策等の名称	根室市津波防災地域づくり推進計画		
実施期間	令和5年1月19日（木）～令和5年2月17日（金）		
意見の件数	6件（6個人）		
意見の取扱い	修正	案を修正するもの	1件
	既記載	既に案に盛り込んでいるもの	2件
	参考	今後の参考とするもの	1件
	その他	意見として伺ったもの	2件
意見の受け取り	郵送		0人
	ファクシミリ		0人
	電子メール		0人
	直接持参		6人

【意見等の内容】

No.	意見の内容	意見に対する市の考え方 (修正した場合は、その内容と理由)
1	<p>各章毎のタイトルバックの色を再考願いたい。概要版についてはエラーメッセージを延々見ているようで視覚的に辛い。</p> <p>防災ということでイメージカラーを警告の意味から赤にしたとは思いますが、日本人男性の20人に1人、女性の500人に1人が色弱者であり、赤と黒は区別しづらい色です。</p> <p>また、一般色覚者には、逆に視細胞への刺激が強くチカチカしてしまいます。</p>	<p>【修正】</p> <p>タイトルバックの色については、「市章」の色をイメージカラーとして作成しておりましたが、色弱者の方等にも見やすいよう配慮の上、配色を変更します。</p>

<p>2</p>	<p>P80</p> <p>「要配慮者の緊急避難方法の検討」において、地域における共助の促進を進めるものとされておりますが、車での避難が前提とされている以上、声掛けなどにはとどまらない対応となることから、地域の共助の促進といっても限界があるのではないかと。</p> <p>また、その他の対策とされている津波救命艇や津波避難シェルターの設置についても、巨大地震が切迫しているとの報道がある中において、目の前の対策としては不安を感じる。車を利用し避難することができない方への対策について、適宜周知してもらいたい。</p>	<p>【既記載】</p> <p>次年度以降、避難に係る具体的な検討の実施を計画しており、地域ごとに避難に係る課題を把握の上、ルール作りを実施し、適切な避難方法を検討してまいります。</p>
<p>3</p>	<p>P 49 第 3 節 津波防災地域づくり推進の基本的な方針</p> <p>基本方針②：命をつなぐ環境づくり</p> <p>家族がいない一人暮らしの人は、地震や津波が起きたときに、他者と連絡を取り安否確認をすることが難しくなると思います。普通で考えれば家族のことで頭がいっぱいになってしまう。そのときに1グループ5人程度の防災連絡グループを予め作成し、いざというときにこの5人の安否を確認するという仕組みがあってもいいと思います。一人暮らしの人に5人グループを組めというのは酷なので、そのグループは根室市側で強制的に5人を組んでしまっ、連絡先の交換をするようにしても良いのではないのでしょうか。</p>	<p>【参 考】</p> <p>安否確認の方法について、いただいたご意見も参考とさせていただき、市民ニーズや地域特性を確認の上、検討してまいります。</p>
<p>4</p>	<p>車での避難は、渋滞の発生が考えられること、地震によって道路の走行が不可になることなどを考え、郊外でもすべての人が安全かつ迅速に避難できること、津波をやりすごすことができる仕組みや設備の導入を行ってほしい。</p> <p>また、市全体での避難の教育も行ってほしい。</p>	<p>【既記載】</p> <p>津波避難対策については、次年度以降、避難に係る具体的な検討の実施を予定しており、地域ごとに避難に係る課題を把握の上、ルール作りを実施し、適切な避難方法を検討します。</p> <p>また、防災教育については、地域における防災出前講座や防災訓練など、今後も継続して取り組みます。</p>

<p>5</p>	<p>P14～22</p> <p>根室市のこれまで実施した津波防災施策について触れられているが、根室市としてオープンデータの活用によるハザードマップの周知などを実施していることについても記載した方が改めて市民への認知度向上にもなるし、今後の活用の活性化にもつながっていくのかと思う。</p>	<p>【その他】</p> <p>津波浸水想定等のデータについては北海道よりオープンデータとして公表されており、オープンデータの活用については、官民データ活用推進基本法に基づく重要な取組みでありますので、別途、市ホームページにリンクを掲載し、周知等に努めてまいります。</p>
<p>6</p>	<p>P8～9</p> <p>根室市は漁業や酪農業といった一次産業が強みであると思う。その中で著しく人口減少も進んでおり、強みである産業の担い手が確保できずに衰退の一途をたどっている。</p> <p>土地や物資が豊富で環境が揃っているにもかかわらず、人手で断念せざるを得ない状況はもったいないので、この分野こそいち早くIoTや機械化を進めて、なるべく人を割かずに効率的に生産を続けるべきではないかと考える。</p>	<p>【その他】</p> <p>当該章は、人口や産業などについて市内の概況を整理したページであることから、IoTや機械化などによる生産性の向上に向けた取組みの検討については、他の計画等の検討の際の参考とさせていただきます。</p>